

# 聾学校地域支援だより

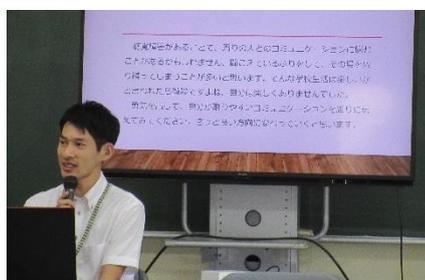


## サマースクール 2023 開催



親の会では、7月26日、聾学校の通級指導教室を利用して岩倉先生をお迎えし、講演をしていただきました。岩倉先生は地域の小学校・中学校・高等学校を卒業され群馬大学に進学、現在は特別支援学校の先生として御活躍されています。講演では、聴覚障がい当事者としての目線から学校生活の過ごし方や自分の障がいと向き合うことなどについてお話ししていただきました。

### 講演の様子



講演のはじめに、岩倉先生から自分の生い立ちや障がいの程度についてお話ししていただきました。その後のお話の中でも、「機械を通しての音が聞き取りにくい」や「会話で聞き取れなかった部分は相手の口の動きを見て、前後の文脈から想像している」など、自分の聞こえや聞こえなかった時の対応を具体的に説明する姿が印象的でした。そんな岩倉先生が自分の障がいと向き合うきっかけとなったのは、2人の聴覚障がい者との出会いだったそうです。

#### 出会い①

小4の時に会った聾学校の通級指導教室教室の難聴の先生

→難聴でも職業に選択肢はあるのだと気づき、自分の人生の見通しをもつことができた。



#### 出会い②

大学時代に出会った3つ上の難聴の先輩

→自分と同じくらいの聴力、育ってきた環境も似ている先輩。難聴ゆえの困難さ、手話の良さ・楽しさ、自分がしてほしい配慮を相手に伝えることの大切さ、聴覚障がいとはなんなのかなどたくさんのことを教えてくれた。先輩との関わりの中で、今までは曖昧だった難聴ゆえの困難さに気づき、自分に必要な配慮は自分でしっかり把握して相手に言わなければいけないということを改めて気づくことができた。

様々な経験や人との出会いを通して、自分の障がいについて考えるようになったことがわかりました。講演後には、保護者や生徒からの質問にも答えていただき、充実した時間を過ごすことができました。

